

ケース

所有者は85才で、長男家族と同じ敷地内の離れで一人暮らしをしており、優良資産以外の不動産は処分していきたいと考えている。
この物件は特に土地の形も悪く、高低差もある為に、それなりの価格であれば、現状有姿で売却したいと考えていた話



◎ 困った点

- 元々この街区一帯を底地として所有していたが、10年程前に地場の不動産会社が、分筆をして借地人に売却していったが、当該地の借地人だけが底地を買取る資力がなく、この土地のみ残ってしまった経緯がある。
- 30年前に亡くなった所有者の母親と、借地人が非常に仲が良かった関係上、自分では立退きなど出来ないとのこと。借地人は生きていれば97才位。
- 懇意にしていた地場の業者も、先代社長が亡くなった後、息子が2代目社長となったが、先代の時のように動いてくれない。

結果

クマシュー工務店独自のノウハウにより
買取り致しました!

名古屋市〇〇区

物件種別:底地
土地面積:約68坪
所有者:本人
年間収入:275,000円(1年分を振込)
賃貸状況:借地人1世帯※建物不使用の空家状態

取引後の地主様の一言

- 「金額は更地に比べて安くなるが、契約内容も、契約後の取引の説明も、非常にわかりやすかったので、これもご縁だと思い、御社に売却をすることにした。」